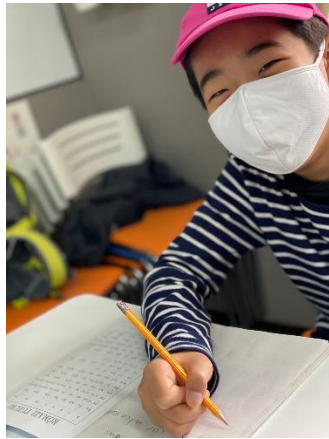


Kosuke さん（五反田校）体験談



ATLAS 通学歴

-小学4年の夏ごろから中学1年の冬まで通学しました。

ATLAS への入学を決めた理由

-読み書きがあまり得意ではなく、学校に行きづらさを感じていました。教科書中心でテストに重きを置いている日本の学校より、自由で色々な体験ができる学校を探していました。All English で1日を過ごせ、決まりきった校則に縛られず、自分のペースにあわせて通学でき、興味を持ったことを自然に学べる雰囲気も気に入りました。多国籍の先生達はみな明るく、ユーモアがあり、クラスは少人数で遠足や外でのアクティビティも多く、自分にあっていると思いました。

英語学習歴

-全く勉強したことがありませんでした。入学してからABC、Phonicsからスタートしました。元々書くことが好きではないので、今思えば、よくゼロからの知識で通ったなと思います。先生達が明るく指導してくれたので、楽しみながら英語の読みができるようになり、書くことも以前よりは苦痛ではなくなりました。

ATLAS での様子

-授業では英語のPhonicsや算数/数学以外にも、色々な教科を学習しました。特にArtでは、大好きな自動車を廃材で作ったり、スリッパに顔を描いてオリジナルデザインに挑戦したり、ハロウィンやクリスマスなど季節のイベントも楽しかったです。好きなArtを通して活きた英語が耳から入り、自然と英語でコミュニケーションを取るようになりました。集中して取り組むアクティビティがたくさんありました。

-先生とも最近のニュースや、先生の好きなコンサートの話、家族で行ったところなど雑談ができるようになり、お友達のような感覚で通学できたと思います。

ATLAS で好きだったこと・楽しかったこと

-お天気が良ければ遠足に連れて行ってもらいました。お台場のトリックアートや恐竜博物館、秋川溪谷、世田谷の畑での野菜作りと収穫、スカイツリーやアスレチック公園など、先生達やクラスメイト達と色々な所にいったことは大切な思い出に残っています。ダンスの先生が来て、ダンスを習ったことも貴重な体験でした。

ATLAS で難しかった点、がんばっていたこと

-書くことは苦手でしたが、海外のテキストで単語練習、スペルチェックなど、全て先生に丁寧に直してもらい少しずつ自信がつくようになりました。最初は、何となく知っている単語や雰囲気でのコミュニケーションをとり、先生が身振り手振りで伝えようとしていることを読み取っていました。通じないから、「もう行かない！」

とならなかったのは、先生方の人柄の良さと一生懸命に話してくれる姿があったからだと思います。先生が一生懸命だから嬉しくて、だんだん指示が分かるようになり、あっていると褒められ、気づいたら英語が話せるようになりました。小6の頃には、自宅で見えていた英語の字幕のニュアンスがちょっと違うと家族に伝え、驚かれるようになりました。

ATLAS に入ってから成長を感じた箇所

-自分の言いたいことを伝えようとする気持ち、意志が強くなったと思います。算数は学校でしっかり勉強してこなかったのですが、ATLAS に入って丁寧に教えてもらいできるようになりました。英語は授業やアクティビティを通して自然に身につきました。



ニュージーランド留学を決めた理由

-コロナ禍でしたが、他国が留学生の短期受け入れを停止している中、ニュージーランドだけは短期留学の募集がありました。英語力を試す意味もあり1カ月だけ語学学校へ留学に行きました。行ってみると想像以上に楽しくて、1カ月では足りない！もっと長く行きたいと思い、長期留学を決めました。

留学へのステップ、準備したこと

-ニュージーランドやオーストラリアの先生達にアドバイスをいただきました。

長期留学の様子

-中1の11月に1カ月間、クライストチャーチの語学学校でホームステイをしながら短期留学をした後、1月から現地校（Shirley Boys' High school）に入学しました。自分の好きな科目を選択し履修できるのですが、Metalの授業が一番好きです。道具トレをリベット（溶接前の接着）で仕上げ、面白い体験ができます。他にも、会計やアニメーションの授業など、自分で学びたいことを選べるのが特徴です。毎時間ごとに教室を移動し、メンバーも違うので最少は迷子になることもありましたが、今は楽しくて仕方がないです。仲良くなった子達とは、土日に遊ぶ約束をして一緒にショッピングモールに出かけたりします。部活はダーツ部に入っています。みんな明るく楽しく活動しています。4学期制なので、2カ月ほど通学したら、長期休暇があります。学校でスキーや観光へも行きます。先生達も勉強が遅れ気味のときはきちんとサポートしてくれます。

-ホームステイで他人の家に泊まることに最初は抵抗がありましたが、優しいおばあさんと娘さんの家で気楽に過ごせています。朝は7時過ぎに起床し、ランチはホストマザーに教えてもらい、自分でトルティーヤにレタス、チーズ、トマトをくるみ持っていきます。他にはドリトスやオレオ、オートミールバーや、昨晚の残り物を持っていくこともあります。日本では全て親に食事はつくってもらっていましたが、自分のものは自分で準備する習慣がつかしました。学校が終わり、15時過ぎには帰宅し、ディナーまでは宿題をしたり、TVを見てのんびり過ごします。お手伝いで、スーパーに夕食の材料を買いに行くこともあります。お米もありますが、マッシュポテトがご飯の代わりに、おかずだけ食べる時もあります。日本に帰国したらお寿司を食べたいですが、サーモン限定ではありますがニュージーランドでも食べられる場所に連れて行ってくれることもあります。ニュージーランドでは水が貴重なので、シャワーは1人10分です。洗濯も自分でします。乾燥まで仕上げしてくれる大型タイプなので、ボタンを押すだけで、それほど手間はかかりません。

留学して成長が感じられる点

-元々ATLASで英語は分かっていたのですが、友達との冗談なども言えるようになってきました。日本の学校ではアメリカ英語の発音を教えますが、ニュージーランドではイギリス英語で発音が違うときもありますが、今となってはほとんど理解できるようになりました。

-日本では学校へ行けませんでした。ニュージーランドでは毎日スクールバスに乗ってちゃんと通えています。遅刻もしていません。毎日楽しく通学できています。

将来の展望

-まだ具体的な夢はありませんが、その時々で自分のやりたいこと、進路を見定めていきたいと思います。ニュージーランドで大学生になったら、オークランドからダニーデンまで車でロードトリップに挑戦したいです。

保護者の方からのコメント

-最初は全くわからない英語の世界でした。もちろん幼稚園も日本語の幼稚園で英語を習ったことも海外旅行も行ったことがない状態でした。両親も英語は話しません。日本の小学校に通えない子供が、オールイングリッシュの教室ですぐにギブアップするに違いない！と思っていました。なぜか大丈夫だったのは不思議です。ATLASの先生方はとにかく楽しくておおらかで、小さいことをごちゃごちゃ言いません。明るくてジェスチャーも上手だから子供がすぐにとけこめます。教科書通りの進め方より興味のあることをどんどん教えてくださいます。練習プリントも色んなタイプのものをさせてくれます。そして丁寧な直し。フリースクールにもいろんなタイプがありますが、「転地療養」で、のびのびした小学生時代を過ごすことができました。普通の学校で授業を受けられなかったことは残念ですが、がらっと趣を変えること、どうせ学校に行かないのなら、空き時間がたっぷりあるし他の人とは違った学び方でいいじゃない！と考えて、自分の居心地の良い場所が必ずある！子供はそこで実力を発揮できる！と信じて通い続けました。

-おかげさまで、ATLASで世界に通用するコミュニケーション能力を上げることができました。まさか中1で自分から留学したい！と言われるとは思っていませんでしたが、それほどの自信をつけてもらえたんだと本当に感謝の気持ちでいっぱいです。校長先生をはじめ、多くの先生方、スタッフの皆様、コロナ前からお世話になり、コロナで大変なときにはオンライン授業もしてくださり、いたれりつくせり子供のために一生懸命に頑張ってくださいまして本当にありがとうございました。一時帰国（年に1回かな？）の際には、教室に遊びに行けることを楽しみにしています。小学生から学校へ行かず路頭に迷っていた子を明るく優しく迎えてくださった先生、貴重な小学生時代を一緒に過ごして下さって、勇気づけてくださって本当に感謝しています。